



東京小児療育病院 院庭駐車場の桜



No.40 (令和2年)

社会福祉法人 **鶴風会**

東京小児療育病院
西多摩療育支援センター
後援会

連絡先

〒208-0011
東京都武蔵村山市学園4-10-1
電話 042-561-2521 (代表)
東京小児療育病院
Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は
障害児者の生命機能の維持
向上と生活援助のための誠実に
積極的に取り組み障害児者と
その家族を支援します

鶴風会への思い

社会福祉法人鶴風会

理事長 松尾 賢二

新元号令和も2年目となり、世の中に馴染み違和感もあまり無くなって来ました。その一方で昭和という時代は遠い過去のものとなりつつあります。昭和39年に開院した東京小児療育病院の昔を知る先生方も少なくなり、現在の活動をどのように感じてもらえるか知る機会が少なくなってきました。

現在評議員として活躍されており、かつて鶴風会後援会ニュース編集の責任者をされていた小川昭子先生の目から見た現在の活動への率直な思いを執筆して戴き、この事業の大切さの理解を深めていただければと思います。

- 1頁 鶴風会への思い
 - 2頁 ご支援のお願い
 - 3頁 障害者の発達支援に多職種専門の方々へ感謝
 - 4頁 東京小児だより
 - 5頁 西多摩だより
 - 6頁 みどりまつり
 - 7頁 オルフェの会
 - 8頁 アニマルアシストセラピー
- 寄贈品
ご寄附者名簿

小川昭子先生は、昭和25年東邦大学の前身である帝国女子医専を卒業されました。91歳となった現在も現役の医師で、東京都狛江市で野沢医院（病児保育室併設）を運営され、自宅から職場までマニュアルソフトの自家用車を自ら運転し診療されておられます。亡くなられたご主人の小川再治先生は東京大学出身の心理学者で、障害児発達心理学を専門とされ、その分野ではバイオ二ア的存在でありました。夫婦二人三脚で障害児療育の分野で長年熱心に取り組み、その功績を称賛され、昨年小川昭子先生は東京新聞に取り上げられております。



ご支援のお願い

社会福祉法人鶴風会

評議員 小川 昭子

松尾先生の前文で身に余るお誉めを頂き、今は亡き夫と共に恐縮し、感謝し、深謝申し上げます。松尾先生が理事長をお継ぎ下さった時の御挨拶の中に「はぐくむ2017 No.35」創立当時の数々の事柄が、正しく丁寧に綿密に書かれており、先生がどんなに時間をかけてお調べ下さったかと分り御礼申し上げます。和四九年、五島先生からお声をかけて頂き評議員の末席に加えて頂きました。編集の責任者としてと申され、大変重責を感じたのを思い出します。後援会「ニュース」として一年に三回発行するので病院で編集会議をする為、五島先生、事務局から医局から看護部からそれぞれ出席され、小山さんを交えて、和やかに二時間位、討論致しました。皆様とお目にかかれるのが楽しみの上に病院の様子（外来の隆盛さ

等）が分り、大変貴重な時間でした。私は一介の評議員であり乍ら創立三十五周年や五十周年にも投稿させて頂き、有難く思っております。以前の「後援会ニュース」や「はぐくむ」を見ていた時ふと目にしたのが御支援下さる寄附者の御芳名欄でした。平成十一年は四五〇名、二十七年は一六〇名と明らかに1/3に減って居り、最近の経済不況の流れを感じ、病院継続の困難さをひしひしと思わざるを得ません。病棟の建て直し、耐震工事、新しい医療器具購入等、悩みがつきません。バザーへの会社からの御支援の品々も減り、私共もあと一がんばりしなければと思います。オルフェの会も皆で力を合せてお一人でも多く御招待致しますよ。松尾先生は「無駄を省く」と申され、室温を一度下げる。空部屋の電気や不必要な場所の電気を消す。薬の購入の仕方、送迎バスの適正な使い方、水の無駄のない使い方、保険請求のうっかりミス等、微細に巨り気を配っております。以前、中里玉子先生（昭和十年卒）厚先生母上）が家宝を御寄附下さり改めて御礼申し上げます。

す。全国で「頼れる施設」の筆頭にあがられている程に発展している当病院を、私共の理念を肝に命じて、全身全霊で努力されて居られる理事長先生を全員で応援して参りましょう。

障害者児の発達支援に多職種専門の方々に感謝

社会福祉法人鶴風会後援会

会長 青木 継稔

私は、川崎市の南部地区や東京都大田区の片隅にて発達障害児などの診療に深く関わり、医療、療育、福祉のほか教育にも永年携わって参りました。最近、臨床心理士と言語聴覚士（ST）が突然に辞職されてしまい、とても戸惑い途方に暮れてしまった経験がありました。発達障害児は、知的な面、行動上の面、身辺自立の面、社会性・コミュニケーション能力の面、言語発達上の面、食事行動上の面、睡眠の問題、日常生活上の問題、粗大運動上の問題、線細攻緻性運動の問題など多方面に問題を抱えています。OT、PT、ST、臨床心理士、看護師・保健師、ソーシャルワーカーなど多職種の方々によって医療・療育のトレーニングを受け、就学すれば保育士、学校教員、カウンセラーや補助員などが深く関わっています。勿論、保護者の障害児への受容、愛着形成、躰・育児・教育等は最も大切な事でもあります。これらの多職種の方々の連携により、ひとりの障害児者の医療、療育、福祉教育等が上手く回転しているのです。この職種のいずれかの専門職が欠けると不完全となり上手く行かなくなってしまう。言語聴覚士と臨床心理士が辞職されたことにより、多くの発達障害児とその家族に対して、近くの地域の療育センターや地域の区立の発達支援センターに紹介状を書いて引き続きの療育指導などをお願いせざるを得ませんでした。ところが、わが国の急速な少子化のなかにあつて、発達障害児は全く減らずにかえて増加傾向にあり、どこの療育センターや発達支援センターも満杯となっていて、3カ月から6カ月待ちという途方もない待

面に問題を抱えています。OT、PT、ST、臨床心理士、看護師・保健師、ソーシャルワーカーなど多職種の方々によって医療・療育のトレーニングを受け、就学すれば保育士、学校教員、カウンセラーや補助員などが深く関わっています。勿論、保護者の障害児への受容、愛着形成、躰・育児・教育等は最も大切な事でもあります。これらの多職種の方々の連携により、ひとりの障害児者の医療、療育、福祉教育等が上手く回転しているのです。この職種のいずれかの専門職が欠けると不完全となり上手く行かなくなってしまう。言語聴覚士と臨床心理士が辞職されたことにより、多くの発達障害児とその家族に対して、近くの地域の療育センターや地域の区立の発達支援センターに紹介状を書いて引き続きの療育指導などをお願いせざるを得ませんでした。ところが、わが国の急速な少子化のなかにあつて、発達障害児は全く減らずにかえて増加傾向にあり、どこの療育センターや発達支援センターも満杯となっていて、3カ月から6カ月待ちという途方もない待

機期間です。一体、都道府県、市区町村にあって地域の発達障害児者の医療、療育、福祉、教育をおろそかにしていると立腹せざるを得ません。それでも、ご家族や保護の方に根気よく説明して、待っていただければ必ず診てくれて良い療育が受けられるのですからと納得して貰うしかありません。

東京都や大田区は、まだ良い方です。川崎市はもう一つ頑張つて行政に生かして療育センターを充実させて欲しいと願うばかりです。

発達障害児者とそのご家族が満足できる医療、療育、福祉、教育などが受けられるために、これら多職種の方々の専門性を相互に尊重し合い連携してゆくことが今更ながら大変重要であることを改めて認識させられました。

私自身、これら多職種の方々とカンファランスを定期的に開催して、ひとりひとりの発達障害児者のよりよい発達支援のために相互に意見を出し合い理解を深め、日々の向上を目ざす努力をしています。私は医師としての立場上、発達障害児者の持つ原因となる疾患の部分が高職種の方々に理解して頂

くように話すことが大切と考えてます。とにかく、これら専門性の高い多職種の方々に感謝あるのみです。

(筆者は小児科医です)

東京小児療育病院だより

東京小児療育病院
院長 椎木 俊秀

平成が終わり令和の時代が始まり、われわれも気持ち新たに事業に取り組んでいます。

当院では人工呼吸器、経管栄養などの医療的ケアを必要とされる長期入所者が非常に多く、重症度も増して来ている上に、全国で最も多い短期入所を引き受け(27床)ています。その短期入所者も重度の方が多いため、日常的な医療的ケアにかかる時間が非常に多くなっている状況です。

従来、長期入所者の日中活動として全体活動、グループ活動、個別活動を病棟職員が中心になって提供して来ま

した。しかし、そのような状況の下で活動時間や人員の確保が難しく、1対1の関わりも少なくなり、日中の生活を豊かにする支援が徐々に減っていました。

当院の役割から見て看過できない事態であり、現場の職員もジレンマに苦しんでいる状況でしたので、平成29年度の病院運営方針として長期入所者の生活の質を向上させる取り組みの強化が決定され、看護・生活支援部で日中活動プロジェクトチームが結成され検討を重ねました。

検討の結果、従来から行われていた病棟横断型の活動の見直しを行い、看護師も参加するようにして、医療的ケアのある人も参加もしやすい工夫を行いました。出勤日は日中活動に専念できる職員の配置も行いました。その結果、活動参加人員が倍増し、一人の年間参加回数も増やすことができました。施設側も職員の奮闘に依って、活動のための部屋を新たに整備したり、退職したベテラン看護師1名と生活支援員1名を活動専任職員として週2日、来てもらうようにしました。病棟スタッ

フが活動に参加できない時は、この2名だけで送迎も含めた活動を行っています。利用者の方や現場をよく知っているベテランスタッフがいることで、重症度の高い利用者も安心して離床し病棟外で活動を楽しめる機会が増えました。また、事前に活動メニューが発表されるので利用者の参加希望を尊重でき、意思決定支援に繋がっています。多彩な活動を行い、従来できなかったカフェやドッグセラピーなども始まり、利用者、家族の皆さんと新たな楽しい体験ができています。

職員の中には様々な才能を持っている人がいるので、音楽が得意な人を職種を超えて募り、「みどりキャラバン」が発足しました。生活支援員以外に事務員、ソーシャルワーカー、施設管理の職員がメンバーになっています。平日、休日に限らず時々、各病棟を回り、利用者さんと一緒に歌を歌ったり、演奏したりして楽しんでいきます。施設側としてもその活動を業務として位置づけ、安定して継続できるよう支援していきます。

その成果と課題についてプロジェクトの責任者の生活支援担当科長は次のように総括しています。

【成果】

- ①活動参加回数が増え、楽しく過ごせる時間が増えた。
- ②ベッドや居室を離れた場所での活動により、気分転換が図られるようになった。
- ③利用者が意思決定をする経験が増えた。
- ④重症度の高い利用者でも安心して参加できるようになった。
- ⑤活動に関わる人手不足を一部解消できた。
- ⑥職員の活動に対する意識が向上した。
- ⑦職員の働きがいの向上に役立った。

【課題】

- ①活動の継続を図る（現在の活動専任職員後継、ボランティア育成）。
- ②若い職員の発想も尊重しながら内容の充実を図る。

【気づいたこと】

「今までこうやってきた」「こうしなければならぬ」という思い込みが強かったが、「こうすればできるかもしれない」「病棟内の人手が難しいのなら他病棟から借りたらどうか」など発想を転換した結果、大きな改善に結びついた。

利用者の方の豊かな生活のために、日常の支援をしている職員の創意工夫と努力、施設側の理解と支援の協同の結果、新しい取り組みが始まったと考えています。このような協同を当院のよき伝統として守り引き継いでいきたいと願っています。



西多摩だより

西多摩療育支援センター
センター長 鶴岡 広

近頃、マラソンや駅伝で厚底のランニングシューズが話題になっている。

私は、日頃の診療で、障害児者の障害を手助けする目的で、色々な装具の処方（補装具は、内服薬を医師が処方して薬剤師が調剤するように、医師が処方して、義肢装具士が製作する。）を行なっているが、走ることを補充する目的の靴底を処方してみた。

靴底の処方：ヒールの補高が約3cmとなるウェッジソール、靴先はトゥロッカー（つま先を上に戻らし、蹴り出すのを手助けする。反り返りの立ち上がりをかかとの方に近付けるほど蹴り出しが早くなる。）、ヒールは後方やや延長したフレアを付け頂点は丸く削る（着地する時に靴底が早く地面に着くことを促す）、ヒールは反発素材でサッチ（SATCH）構造（義足などで使用される構造一つで、ゴムなどで作ら

れる。着地した力を吸収すると共に前進する力に変える。）、踏まず芯（土踏まずを作る足自体にあるサスペンションの役目をする足底腱を補強）はカーボン積層2・3層（積層を増やすと反発力が強くなるが、硬くなる。）で、足先およびかかと後方まで延長（一般的には土踏まずの前くらいまでだが、かかとで着地した力をつま先まで伝えるために靴の前方までとした方が良くかもしれない。）

実際には、これ以外にも各種の調整が必要となる。また、靴とするには、インソールや靴底より上（アップパー・アッパー）と靴底の結合方法なども処方が必要だ。

障害児者に有用な機器の仕組みが、健常者にも役立つと思う。障害に優しいことを考えることは、健常者にとっても生活を豊かにしてくれるでしょう。





ラブバンドの様子

みどりまつり チャリティーバザー

施設管理 石田 隆裕

令和元年10月20日(日) 秋晴れのもと令和初のみどりまつり・チャリティーバザーを開催しました。



アフリカンパーカッションバンドの様子

今年度のみどりまつりは、音楽をメインで富山県の知的障害者の音楽サークル、ラブバンド・本場アフリカのアフリカンパーカッションバンド・デュエットのけいことみつる・職員構成のみどりキャラバンが参加し、利用者と歌ったり踊ったり楽しい演奏会でした。模擬店はタピオカドリンクやミスタードーナツなど7店が出店しました。

ボランティアの方も大勢来ていただき、今年度からボランティアの方にバザー利用券・ドーナツ交換券・飲み物交換券を発行し、みどりまつり・チャリティーバザーを楽しんで頂きました。

バザーは、ご寄贈品・ご寄附をお願いするリスト(趣意書)を新しく作成し、いままで鶴風会にご支援いただいた方々、約6000名にご依頼申あげたところ、多くの方々のご協力で前年より多い収益を得ることができました。

この収益金は、施設改修等の資金に充てさせていただきます。

ご支援を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。

今後ともどうか温かいご支援を宜しくお願い致します。



オルフェの会

総務部庶務課 上村 裕史

令和初となる当法人恒例のチャリティコンサート「オルフェの会」を、令和元年12月1日(日)にグランドプリンスホテル新高輪にて開催いたしました。

当法人理事長の松尾 賢一からの挨拶が始まりました。続いて、来賓の御挨拶では、炭山 嘉伸先生(学校法人東邦大学理事長)と、額田 均先生(東邦大学医学部東邦会会長)から御挨拶を頂戴し、高松 研先生(東邦大学学長)より乾杯のご発声を賜りました。また、安藤高夫先生(自由民主党衆議院議員、医療法人社団永生会理事長)におかれましては、御多忙の中コンサートの途中に駆けつけられての御挨拶を頂きました。





開宴しお食事が始まると施設紹介のお時間を頂きました。長田看護・生活支援部長が、当院での生活支援の取り組みについて、プロジェクトを使用したスライドでの紹介を行いました。

その後、会食が進むと、アーリークリスマスコンサートと題しましてのクラシックコンサートの公演が始まりました。

出演は、松尾理事長夫人のお知り合いでもある磯 絵里子さん（ヴァイオリン）と夫君の武藤 敏樹さん（ピアノ）、磯さんのお友達の高橋 純子さん（チェロ）の3名の方々でした。それぞれの方は、普段は別々の形で活発な音楽活動をされていますが、いざ同じ舞台上立ちますとぴったりと息の合った素晴らしい演奏とトークをご披露頂きました。コンサートの最後には、会場の皆様で「赤鼻のトナカイ」を合唱し、和やかな雰囲気で盛会のうちに幕を閉じました。

チャリティーコンサートへの皆様からの厚いご支援に心より感謝申し上げます。



日中活動室「わくわくルーム」が開設され、そこで行われる活動の一つとして「陽だまり」という活動が毎週火曜日と木曜日に行われています。その活動ではゲームや創作など様々な活動を提供していますが、その中でも人気No1なのが「アニマル・アシステッド・アクティビティー（AAA）」です。

生活支援担当科長 渡辺 明彦

アニマルアシステッド・
アクティビティー（AAA）

この活動は、欧米では1970年代から動物と人のふれあいから生まれる効果について多くの調査、研究、活動が始められていました。現在日本でも高齢者施設や障害者施設、こども病院などで導入されており、緊張緩和や安寧などの効果も立証されています。当院では利用者の高齢化、重症化がすすみ、院外活動や社会参加の機会が減少しています。そこで、院内でも様々な体験ができるよう、外部団体に訪問してもらうなど外的支援の活用が必要と考えAAAを導入しました。

活動の目的はセラピー犬とのふれあいにより、情動の安定やリラクゼーションを図ること。外出機会が減少している利用者が、外部団体の訪問を受けることにより、体験の拡大ができて生活の質の向上を図ることです。

昨年7月より月1回、午前中に1回約30分、犬とのふれあいを実施しています。各回、大型や小型5匹前後のセラピー犬とセラピストが来院し、利用者に声をかけながら触れたり抱かせてくれています。犬達は耳やしっぽなどどこに触れても嫌がりません。はじめは緊張して触れられ

ない利用者もセラピストたちの支援で犬に触れて毛の手触り、柔らかさ、温かさを感じ徐々に緊張が緩和し、素敵な笑顔を見せてくれます。利用者とともに参加した職員も癒しの効果を実感しています。ほんのひと時ですが、この癒しの時間をこれからも皆様に継続して提供できよう企画していきたいと思えます。



つりゲームの様子

寄贈品

総務部財務課 竹内 真一

この度、コストコホールセールジャパン株式会社 入間倉庫店様及び馬主協会様より、多くの品々をご寄贈いただきました。

コストコホールセールジャパン株式会社 入間倉庫店様におかれましては、平成31年7月及び令和元年12月に、ご寄贈をいただいております。



馬主協会様より寄贈

ご寄贈をいただきました品々につきましては、東京小児療育病院の利用者の活動等に使用をさせていただいております。皆様のこれまでのご支援ならびにご協力に心より感謝申し、今後とも、どうか末永いお力添えをたまわれますようお願い申し上げます。



コストコホールセールジャパン様より寄贈



社会福祉法人鶴風会へ

「寄付者」芳名

令和元年8月～令和2年2月
429名（五十音順・敬称略）

青木りょう子・青木 継稔・青木万智子・青木 徹
青木 美澄・赤星 恵子・荒木真佐子・安藤 高夫
阿部 正和・阿部美代子・安土 達夫・安部 良治
安部井瑠美子・荒井 陽子・秋山 朋代・浅川 恭行
浅川 和子・足高 毅・足立 嘉子・朝山 浩行
朝日恵美子・有村 章・石井 昌之・石川 元子
石川 至・伊谷 昭幸・伊藤 治男・伊藤 元博
伊藤 正俊・伊藤 泰広・伊藤 文子・伊藤 茂理
依田 寿子・井上 和美・井上 英治・井上 和子
井村 和博・井村 勸・一林 繁・逸見 仁道
稲松 信雄・稲田 貴重・岩崎 直弥・岩村 吉晃
岩本 敦子・岩淵 聡・市原 克己・石原 学
石沢 純子・石塚 博子・石田 勇・石田みどり
石田 哲朗・飯国紀一郎・飯国洋一郎・飯国 弥生
飯村 誠・飯塚 綾子・苗村 みえ・植田 桂子
宇野久仁子・宇佐見三代・白井 雅美・瓜田 純久
梅田 正法・梅田 嘉子・遠藤 英子・海老原 寛
海老原健介・海老根伊佐子・大館 一彦・小畑 恵子
小俣 晃・乙幡 和明・近江 訓子・小原 明
小原 浩・小原 桂子・小田田京子・小川 正俊
小川 昭子・小田島正明・大江 容子・大場 幸延
大場 圭子・大西 一禎・大川原直子・大村 一夫
大谷 定之・大塚 周二・大塚 淳子・大塚 慶子
大島 剛・大島 範子・落合 泰明・加藤奈津子
金澤 昭・金森 勝士・上岡 謙夫・上岡 正子
神谷 英治・神谷 節子・加藤 茂・加藤 聡彦
加藤 真人・加藤 陸美・河合 典子・河村 康明

河村 裕子・河田 兼光・鎌田 直子・金坂伊須明
鹿島田忠史・春日井正典・勝見 千明・勝瀬 明子
神田 明・神田 悠美・川島 福恵・川崎 教子
村川 公一・村川世津子・岸 惠美子・菊池 信介
菊池 由美・菊池 信彦・菊池麻由美・絹笠 哲夫
木下 佐・久保田宏明・久保 博・久保 初美
久保田伸枝・久保木理恵子・黒瀬 嘉幸・黒木 貴夫
倉根 理一・倉田 慶子・月花 亮・近藤 陽子
向山 秀樹・向山 徳子・小西 冬海・小泉 啓子
小竹原安見・小竹原良雄・小林登喜子・小林 実話
是枝誠太郎・五島 博樹・後藤加寿美・後藤 薫
後藤佐多良・境 りえ・佐々木康人・佐々木裕美
佐多 由紀・佐渡 昌子・佐藤 宣・佐藤 朋己
佐藤 和子・佐藤 中・佐藤 信一・佐藤 重雄
佐藤 信秀・佐藤 宣・佐藤 東太・佐藤 裕美
佐藤 洋子・斎藤 光・齋藤百合恵・齋藤 長則
斎藤 茂秋・斎藤 眞・酒井 一夫・酒井 珠子
西條 公勝・先山 隆司・澤井 寛人・眞田 喬子
椎木 俊秀・白石 祐子・塩野 則次・塩野 久子
四宮 雅子・志島眞理子・獅山富美子・志越 和子
篠 昌治・篠 繁市・柴 昌徳・柴 孝也
清水 光政・清水美津子・清水 友理・島田 長人
島田 敏雄・島野 光・忍田 拓哉・白井 久己
杉山夕子・杉山 尚子・杉山 卓哉・杉本 寛子
菅野 俊一・菅野 壽子・炭山 嘉伸・炭山 朋子
鈴木カツ子・鈴木 加乃・鈴木 秀明・鈴木智恵子
鈴木 美帆・関口 広暉・関根 貞子・関根 雅弘
清宮 祥子・千 哲三・宗 恒雄・疋田 照子
舘田 一博・舘野 昭彦・谷口 利江・谷藤 龍正
竹下 寿子・竹下 智史・竹下 直樹・竹中喜久子
竹中玖美子・竹中 幸宏・竹内 真一・竹内 忍
田村 清美・田村 和子・田中 信・田中 美穂
田中 政信・田中 芳夫・田島 政晴・田畑 友美
田部 秀山・武居 正郎・武田 朋子・高木 真一

高木 芳夫・高橋 和美・高橋 孝彦・高橋 孝彦
高橋 京子・高橋 正・高橋比路美・高石 雅
高月 誠・高松 研・高須 信美・高村 安子
高木 嘉子・長 博雪・鶴岡 広・月本 伸子
月本 一郎・江元 智子・塚原 英基・辻 明良
辻本公美子・堤 俊一郎・堤 幸子・土屋 英子
寺島 進・出野 慶子・所 常明・刀根 千鶴
内藤 勝彦・中内 紀彦・中野 紀子・中村 道子
永山 隆一・中岡 義明・中村みゆき・中村 豊
中村志津子・中村俊一郎・中谷 尚登・中田 正幸
中島龍朗・中野 敏江・中里 厚・中澤 一治
長田 幸枝・長田 囃雄・長山 徹・長岡 貞雄
長澤 貞継・並木 温・西田 隆寛・西宮 常代
二宮 文乃・根本 暁・根本 勤・野口 隆志
野口 隆敏・野上和加博・野村 直子・野中 杏栄
野中 博子・橋詰 美佐・長谷川和寿・橋詰 直孝
橋口 玲子・原 三紀子・原田 孝・原田千鶴子
原田裕美子・早原 千鶴・早川 浩市・林 佳子
林 聖子・濱中知恵子・馬場英津子・樋口志津子
久田 和子・土方 淳・日置 文良・蛭田 啓之
平田 徹・藤牧 賢治・福田 禮子・福島富士子
堀口 公美・細澤 裕子・星出 陽子・堀之内八千代
牧野 道子・丸山 和子・守屋 栄・松永 佳子
松橋 京子・松原 龍弘・松山 典子・松田 光展
松田 正子・松島 英乃・松尾 賢二・前澤 善一
増田 和人・馬嶋 順子・眞瀬きよみ・三木 延義
宮脇 浩紀・宮澤 一恵・溝渕 和枝・三浦 淳生
三宅 三・三木 一正・水吉 秀男・水野 孝子
水野 惇子・水落 笙子・美島 利通・三登 和代
村田 康子・村井 貞子・森 克彦・森松 直美
守田 洋・森 紘子・森田 英雄・森澤 豊
百瀬せつ子・望月 祐一・望月 陽子・本明 啓子
柳 恵子・柳瀬 達夫・山口 道子・山下 順子
山下 展男・山川ふみ子・山村 憲・山谷 敏男

山田耕一郎・山本 温子・山澤 一郎・山崎 孝正
山崎 純一・湯澤 俊・油原 亨・横井 郁子
横江 一朗・横山 祐作・横田のぞみ・吉川 芳登
吉永 克己・吉見 梓・吉田 宏重・吉田 友美
吉野谷友香・龍 倫之助・渡辺 明彦・渡邊 嘉行
渡邊 享子・渡邊 善則・和田しづ江
㈱インテリアクリーニング

㈱老番屋
医療法人社団 嘉明会 横浜東邦病院
医療法人社団敬聴会 祐天寺松本クリニック

学校法人 桜蔭学園
学校法人 東邦大学 看護学部 事務局
学校法人 東邦大学 健康科学部

学校法人 東邦大学 理学部鶴風会
塩野製薬㈱
㈱エグセル・サービス

大島椿㈱ 鈴木敏江
㈱コンテス
㈱幸和義肢研究所

立川酸素㈱
㈱東新商会

トマトの会 代表 塩野多佳子
中村建設㈱
八王子建物管理㈱

㈱フジミ
ファイナンシャルライアンス㈱ 杉林勤
有楽町ビル婦人科クリニック

弁護士法人 ウイズ
㈱吉沢薬局

東京小児療育病院父母の会
匿名

鶴風会後援会

